

会報

No. 1 (第 1554 回) 2021 年 7 月 7 日 (水) 12:30～

第 2820 地区 新井和雄ガバナー 地区スローガン “Think Globally Act Locally”
(地球の未来を思い地域社会に貢献しましょう)

2021-2022 石井秀明会長スローガン「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」

本日のプログラム

- ◆ 卓話 新年度を迎えて 会長・副会長・幹事挨拶
- ◆ クラブ協議会 (1) ガバナー公式訪問準備

◆ 新年度を迎えて 会長・副会長・幹事挨拶

石井秀明会長



東海那珂ロータリークラブ設立 35 周年を迎える長い歴史の中で、2021-2022 年度、東海那珂ロータリークラブ第 36 代会長を引き受けることになり、責任の重さを感じております。

2021-2022 年度、シェカール・メータ R I 会長は、「奉仕するとき、誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになる」「人びとの世話をし、奉仕することこそ、人生の最高の生き方」と述べ、奉仕プロジェクトへの積極的な参加を会員に呼びかけています。「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(SERVE TO CHANGE LIVES) というテーマが掲げられました。

RI と財団の年次目標

- 優先事項 1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標
- 優先事項 2 「参加者の基盤を広げる」の目標
- 優先事項 3 「参加者の積極的なかわりを促す」の目標
- 優先事項 4 「適応力を高める」の目標

新井和雄ガバナーのスローガン “Think Globally Act Locally” (地球の未来を思い地域社会に貢献しましょう) この願意については、各種セミナーを通じて、少しずつ紹介されるそうです。

地区目標

2820 地区の持続可能な発展に資する奉仕活動の推進

具体的行動指針

- 1、ロータリーの新しい重点分野「環境の保全」の推進
- 2、クラブをサポートする持続可能な地区運営体制の強化
- 3、質の高い奉仕活動の推進
- 4、公共イメージの向上
- 5、ロータリー財団の活用と支援
- 6、米山記念奨学会の支援
- 7、ヒューストンに行こう

東海那珂ロータリークラブの年度テーマを「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」を掲げます。

今までの東海那珂ロータリークラブの活動してきた歴史は、この地域社会においても必要とされる奉仕をしてきたからこそ35年この地域でクラブとして存在できていると実感しました。奉仕に当たり前はなく、それらは歴代の会長や委員長、会員の皆様が考え、行動し、築いてきた1つ1つの奉仕活動の積み重ねだと思えます。そのプロジェクトを考えて、継続させ、活動下さったことに感謝しながら、その経験を活用させてもらい地域の方にも喜ばれて、長年継続していける奉仕活動のきっかけを次年度に作れるよう努力いたします。その具体的な奉仕といたしましては新たな環境保全の奉仕を広げたいと考えております。

又、引き続きコロナの影響により自粛や制限をふまえた上で例会を開催する必要があると思えます。その際には通常例会とZOOM例会も並行して行うハイブリット型で行いたいと思えます。

奉仕活動も制限がある中で出来る活動を率先して行い、親睦活動に関しましてはコロナ過の状況を考慮してとなりますが、出来れば移動例会を開催し顔を合わせる場を作っていきたいと思えます。人数が多くなる時は、無理のない人数と範囲で家庭集会などで意見の交換を行いながら会員のコミュニケーションを保ち活動力を養っていきたいと思えます。

活動方針

1. 会員増強と退会防止に努めます。(純増3名以上)
2. 新しい地域での奉仕活動を増やす。
3. 必要に応じて通常例会とZOOM例会を開催します。
4. 創立35周年記念を開催します。
5. インターアクト年次大会開催に向けた対応をします。
6. RI会長賞へのチャレンジ
7. 会員相互のコミュニケーションになる企画推奨します。
8. インターアクトの支援と活動をクラブ全体に「みえる化」と同時に、農業支援や体験などで他クラブや他校と関わりを持てる関係を作り、合同での支援となる流れを作る。

例会や活動方法、行動範囲にまだ支障がでる雰囲気もあります。会員の皆様にあかれましては無理

のない行動と健康管理に留意して頂きながら、1年間お力添えを頂き、努めてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

橋本壽郎副会長



いよいよ石井年度がスタートします。
副会長の職務は会長を補佐して円滑なクラブ運営や奉仕活動が実行されることに努める
ことですから、会長が目指す「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」
を最大のテーマとして活動したいと思います。
また、35周年行事の成功のためにも会員の皆様のご協力とご指導を宜しくお願い致します。

島田智和幹事



幹事という大役をいただき、緊張と不安の中新年度が始まりました。
石井会長の打ち出して頂いた「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」という方針を考えますと、東海那珂ロータリークラブの将来のためには会員維持増強に力を入れなければならない事を再認識しております。その為には若い世代の方々が入会したいと感じるような魅力あるクラブにしていかなければならないと思います。各委員会の皆様にも、コロナ禍ではございますが、これを踏まえて様々な活動を計画していただきたいと思います。

石井会長共々、時代の流れに伴って新しいことに柔軟に対応することがクラブの発展に繋がると考えます。常に新しい手法を見つけ、出来ない理由ではなく実現できるツールを探し、石井会長の補佐役として出来る限りの力を注いで参りたいと思っております。

皆様方のご意見、ご指導が無ければ実現はできないと思っております。微力ではございますが精一杯努力いたしますので一年間よろしくお願い致します。

6月30日移動例会報告(第1553回)

◆ 幹事報告

1. 本年6月30日をもって5年毎契約の「ロータリーの森」が失効いたします。
次年度以降も環境保護・整備を地域住民、団体との協力を得ながら「ロータリーの森」の存続を致したく思います。正式名称「いばらき協働の森パートナーズ協定」を茨城県といばらき森林サポートセンター（社 緑化推進機構）との三者間契約の更新について審議し承認されました。
2. 目黒伸也会員より、新規入会者の推薦がありました。
桐嶋健二様。7月からの入会希望ですので、回覧致します。

◆ 出席報告

2021年6月30日例会

本日は、出席率100%です。

◆ ニコニコボックス

『よろこびの言葉』

◆ 植野 重男

植野年度の例会が最終回になりました。コロナ、コロナで戸惑いながらの1年でしたが、会員皆様に支えられ、終了する事に感謝致します。1年間ありがとうございました。

◆ 大越 正彦

1年間って、本当に早いですね。1年分の成長が私にあったのかな？ まっ、細かい事は気にせずに、皆様のおかげで、無事に1年間。ありがとうございました。

◆ 厚見 和則

植野会長、大越幹事、1年間お疲れ様でした。

◆ 海野 宏幸

植野会長、大越幹事、一年間ご苦労さまでした。コロナ感染症の拡大で例会中止が続く等、大変な年でした。ゆっくり、ご静養下さい。吉田さんにも、大変お世話になりました、深甚な謝意を表します。

◆ 目黒 伸也

植野会長、大越幹事 1年間お疲れ様でした。

◆ 高橋 昭

植野会長、大越幹事 コロナ禍のなか1年間ご苦労様でした。吉田様 永い間お世話になりました。

◆ 猪股 真純

植野会長、大越幹事 1年間お疲れさまでした。厳しい環境での運営ご苦労の連続だったことと思います。有難うございました。

◆ 佐藤 広道

植野会長、大越幹事、一年間、お疲れ様でした。

◆ 中村 澄夫

植野会長、大越幹事様 一年間お疲れさまでした。苦しい年であったと思われませんがロータリーは歴史でもあり次年度の頑張りに期待致します。また、吉田様 長い年月の事務職多々お世話になり御礼申し上げます 感謝。

◆ 清宮 武雄

会長、幹事、役員の皆様 コロナ禍での一年間ご苦労様でした。

◆ 浦澤 精乗

会長、幹事一年間大変お疲れ様でした。本来なら、今宵は美味しいお酒をといたいところですが、それだけが残念です。でも楽しくやりましょう。

◆ 大森 龍一

植野会長、大越幹事 コロナ禍での一年間、ご苦労様でした。

◆ 稲田 栄一

19年間お世話になりました。私事で退会しますが、クラブ、地区での役員・委員など 良い勉強をさせて頂きました。ありがとうございました。

◆ 橋本 和一郎

植野会長、大越幹事、一年間ありがとうございました。

◆ 浅川 清司

植野会長、大越幹事 1年間御苦労様でした。コロナ禍の中、大変な年度でした！

◆ 鶴田 哲男

コロナ禍のなか、会長、幹事大変でした。お疲れ様です。そして、ありがとうございました。

◆ 田中 宏和

植野会長、大越幹事 1年間ありがとうございました。もう少し奉仕活動を企画したかったのですが、それは次年度の楽しみとします。

◆ 石井 秀明

植野会長、大越幹事、1年間おつかれさまでした。

◆ 伊藤 邦博

長い間お世話になりました。本日退職しました。たくましい後輩に跡を引き続いていただきますので、宜しく願いいたします。

◆ 小林 英雄

植野会長、大越幹事 1年間コロナ禍お疲れ様でした。私も本日が東海・那珂 RC 最後の例会です。5年間ありがとうございました。

◆ 藤田 明英

植野会長、大越幹事様 コロナ禍の中、大変な運営であったと思いますが、1年間お世話になりました。有難うございました。

◆ 高橋 琢

植野会長、大越幹事 大変おつかれ様でした。コロナ禍の中、大変なご苦労お察し申し上げます。来期は少しお休み頂ければと思います。

◆ 橋本 壽郎

植野会長、大越幹事 大変ご苦労さまでした。

◆ 伊藤 幸司

植野会長、大越幹事様 そして委員会の委員長の皆様。閉塞感のある中での運営には多くの苦労が有ったかと思えます。1年間ありがとうございました。

◆ 富永 康修

植野会長、大越幹事、各役員の皆様 1年間お疲れ様でした。

(以上25名)

◆ クラブ協議会(8) 事業報告

藤田明英 職業奉仕委員長



田中宏和 社会奉仕委員長



稲田栄一 青少年奉仕委員長



高橋琢 インターアクト副委員長

大森龍一 国際奉仕委員長

海野宏幸 ロータリー財団委員長



大久保賢二 米山記念奨学会委員長：Zoom より報告

*各委員会の事業報告はNo. 25（第 1553 回）会報に記載

会長・幹事慰労会

◆ 会長退任挨拶(植野重男)

「この1年を振り返って」



この1年間を振り返ると、昨年初頭に「コロナ感染問題」が世界的に発生して当地区に於いても外出自粛等の制限される中、7月に伊藤幸司前会長からバトンを受けました。

ロータリークラブについて、名称を知っている方がいる一方、どんな活動団体かを知っている方が少ないと感じており、小さな事に挑戦し、積極的に地域に入り込み奉仕活動を行うことで、知名度アップに繋がると共にロータリアンとして誇りを持ってクラブ活性化を図れるものと思ひ、年度テーマを「(みんなのためになる)地域活動で知名度アップ」を掲げました。

会員及びクラブ運営の活性化に繋がる仕事出来るかどうか不安であり、気を締めて与えられた重責を努めなければとの思いでスタートしました。

コロナ感染拡大が蔓延しての状況であったが、昨年6月頃は、一旦は収束方向となったため、7月例会を通常に戻し、地区で1番目のガバナー公式訪問も会員の皆様のご協力にて通常とおり開催出来ましたが、8月に入り近隣地域でコロナ感染拡大が見られた為、全員参加型の例会は会員の理解を得られないとの判断で、出席者限定のズーム方式に変更し例会も2回休会しました。

更に、不要不急の外出自粛の「緊急事態宣言」に伴い、1月と2月の例会を5回休会にしました。

この5月には東海村等が「感染拡大市町村」に(5/20～6/2)期間限定の不要不急の外出自粛が発せられ5回例会の休会を余儀なくされました。

このような状況が1年間続き、計画していた月3回例会の計画が、12回休会に追い込まれ結果、平均して月2回の例会開催となってしまいました。

例会を休会にするたびに苦渋の決断をすることになり、クラブ運営に支障を来すことになってし

まいりました。会員の皆様にはご苦勞掛けて大変申し訳ない1年でした。

今思えば休会では無く、別な方法は無かったかなと反省もあります。

また、クラブ例会場を4月に諸事情により、「大森茶寮」から「ホテルクリスタルパレス」に変更し進めて参りました。

このような中でも、

- ・会場監督の委員長として、一度の休みも無く、例会1時間前に会場に入りズーム設置、国旗の準備、名札の準備など一人で行って頂き、頭が下がり感謝します。
- ・会員増強については、3名の入会者があった一方、6月末に会社の都合などで7名の退会者がありますが、7月期首に4名の入会者を予定しております。

昨年度期首の数字と同数になりますが、次年度増員できるよう増強活動を行いたい。

新会員になられる方に感謝いたします。

- ・例会数が36回から休会により24回に減少した中、出席者限定やズームによる例会でしたが、出席委員会は、目標90%を上回る91.6%は15年振りの成果がありました。また、プログラム委員会、ニコニコボックス委員会、クラブ会報委員会の委員の皆様には、思い通りの活動が出来なく、ストレスが溜まった1年間でした。ご苦勞様でした。
 - ・親睦活動委員会については、会の基盤となる会員間の親睦活動の移動例会が、コロナ感染拡大防止により、納涼例会 観月例会 観桜例会が中止になった事は残念でしたが、会員の命を守る点からの判断で目黒親睦委員長にはご苦勞かけて申し訳ありませんでした。
 - ・広報史料委員会については、過去のクラブ保存資料の電子ファイル化作業を完了して頂きまして感謝いたします。地域への広報活動で新聞掲載2回、地域広報誌2回があり、イメージアップの一つとなったと思います。
 - ・職業奉仕委員会については、当初計画した職場訪問や優良従業員表彰が、コロナ感染関係で遂行できなく残念ですが、1年間ご苦勞様でした。
 - ・社会奉仕委員会については、行事の一つに「ひまわりフェスティバル」は中止となりましたが、福祉施設(若草園)への遊具支援や2施設にお菓子贈呈、森の整備作業、環境問題への取組など、概ね計画された支援活動は完了されました。特に計画に無かった今年のテーマである、小規模地域イベントに、真崎古墳群整備、東海村クリーン作戦に参加予定が中止となりましたが、「東海村花火大会後のゴミ拾い」に支援して、新聞掲載できたことは成果でありました。
 - ・青少年奉仕委員会は、目玉であった「インターアクト年次大会」が延期となり、国際奉仕委員会は、「この指とまれ国際奉仕」で「ネパールの貧しい子供達への就学支援」への共同提唱クラブになり活動が開始され、ロータリー財団委員会は、財団寄付目標達成など各員会の皆様のご努力感謝致します。
 - ・米山記念奨学会委員会については、ベトナムからの奨学生(チャン・トゥ・タオ)さんの世話クラブとしての対応ありがとうございました。特に、カウンセラーの稲田栄一会員には手取り足取り面倒みて頂きまして感謝致します。
- この4月からはネパールからの奨学生(アリアル・シュリーラム)さんのお世話を海野宏幸カウンセラーにお願いしますが、ご面倒をお願い致します。
- ・戦略委員会については、現在、会員6名でクラブの中長期ビジョンを作成し、クラブの継続的な活性化と成長になるようクラブ運営に具申するなど活動しておりますが、次年度の委員長として、

委員会メンバーを見直すなど改善を図りクラブ活性化に繋がりたいと思います。

最後になりますが、本日まで支えて頂きました大越幹事、事務局の吉田康子さん、役員、理事、各委員長、全ての会員皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

お蔭様にて今年度もロータリー賞を得ることが出来ました。

次年度も「コロナ」との戦いは続き、各種行事が円滑に進めることが困難になるかと思いますが、石井会長を支えて頂き、ご支援をお願いいたします。

会員の皆様のご支援とご協力を賜りまして、この一年間会長としての任を果たす事ができました事に感謝いたします。

一年間ありがとうございました。

会長・次期会長バッジ交換



花束贈呈



植野会長、コロナ禍での一年間、いろいろなご苦勞があったことと思います。

ありがとう御座いました。

◆ 幹事退任挨拶(大越正彦)



1年間お世話になりました。長い一年になるかなとは思っておりましたが、なんとも短い一年間でした。世の中の状況がどうであったとしても過ぎてみれば、終わって見ればあっという間。というのが常なことなのでしょうが、今年度はそれにもまして早い一年だったかな。というのが私自身の感想です。

幹事という重責に対し覚悟をもち皆さんの奉仕活動、運営がスムーズに行きますようにを念頭にスタートさせて頂きました。また、幹事業務の1年間で今まで知らなかった、薄い知識だけだった部分も勉強していければとの思いもありました。

まずは本年度はガバナー公式訪問が地区の一番目ということで5月中より現況報告書の作成に携わることができ、内容の校正を行うことで一年間のおよその流れをつかむことが出来たのは幸いでした。しかしながら、それとは裏腹に大きな残念であったことは、コロナ禍による集会の制限で各委員会の家庭集会が参加型として行われずに終わってしまったことで

す。入会6年目にして当然ながら6年の月日では関わってこれなかった委員会も家庭集会への幹事としての参加により多くのことが学べるだろうなとおもっていたのが、脆くも、、、という感じでした。

またいくつかの地区行事も含めた参加型のイベントも中止となったりしてしまいました。

それでも本年度のテーマである環境というものについて、プログラム委員会と相談をしながら、環境関係の外部卓話を例会の中に複数回盛り込ませていただきました。SDGsについても、はやりものとせず、未来への足掛かりの基礎になればと思います。それに関し、現在「海のクリーン作戦」が計画中であります。是非とも次年度の環境問題への一つの意義あるイベントにみんなですていければと思います。

それから年度後半、度重なるコロナ禍における要請等また感染拡大状況で、例会の開催において変更変更と大変ご迷惑をお掛けしたことと思います。ZOOM開催等の検討もあったかとおもいますが、制限の解除日が定まらない中延長延長との中で、なかなか準備が間に合わなく休会という形を選択させていただきました。プログラム等で奉仕の予定を延期や断念という形も発生し各委員会の皆様には大変ご苦勞を掛けたことと思います。

そういうこともあり、例会回数は減となってしまいましたが、本年度は合計23回の理事会により役員・理事の皆様には様々な審議をお願いすることとなったことも本年度の特長だったかと思えます。事前理事会2回、通常9回、臨時3回、持ち回り9回の内訳でした。またパスト会長会議も4回の開催となりました。会場も蜜を避け東海村のコミセンを利用し、多くの審議をいただきました。ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。

次年度はイベントがたくさん予定されております。石井会長、島田幹事、そして伊藤ガバナー補佐のもと成功裏に進行できますよう微力ながら関わっていければと思っております。

まだまだこれから多くのことを学び、皆様のお力になればと思います。今回以上に頑張ります。最後に、世間が正常に戻ります事を願ひまして、また皆様と皆様のご家族が健康で過ごされます事を願ひましてあいさつとさせていただきます。

幹事・次期幹事バッジ交換



花束贈呈



大越幹事、一年間の活動
ありがとうございました。

◆ 退会者挨拶

稲田栄一様

長い間お疲れさまでした。



伊藤邦博様

長い間お疲れさまでした。



小林英雄様

ひたちなかでのご活躍を期待しています。



◆ 新会員挨拶

高阪裕二新会員 今後よろしくお願います。



◆ 事務局交代

吉田康子様 長い間ご苦労様



小田島美穂様 これからよろしく



会場風景



島田副幹事閉会の挨拶



今後の発展、コロナ退散を願い一本締め



